

## 【浄化槽 改善事例】 貝類(サカマキガイ等)の発生について

浄化槽内に貝類(サカマキガイ等)が発生することがあります。貝類は側溝等の放流先から浄化槽内に侵入し、槽内の生物膜や汚泥・スカム(浮遊物)等を餌として成長します。汚水中でも生きることができ、また雌雄同体で自家受精することもあると言われ、繁殖力も強いことが特徴です。

貝類の駆除については、壁面に付着した貝類を除去した後に、薬剤(硫酸や石灰等)により槽内水のpHを上昇させ死滅させる必要があります。そのため貝類による影響が確認され駆除が必要な場合は、保守点検業者と連携した対応が必要です。

### 貝類(サカマキガイ等)の発生状況

